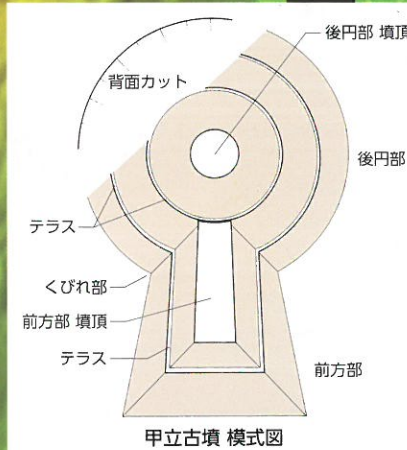




石敷区画に並べられていた家形埴輪は切妻造高床建物2基、特異な形状の冨形状1基、小型の家形2基で、いずれの埴輪も写実的でシャープな仕上がりであることから、高度な技術を持った埴輪工が製作に携わったと考えられます。また、後円部墳頂中央の浅い落ち込みからは、全国的に出土が珍しい子持家形埴輪が出土しました。

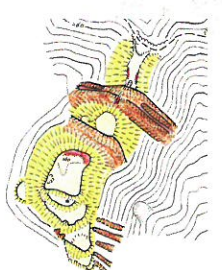


甲立古墳からは、普通円筒、朝顔形、楕円筒などの円筒埴輪と蓋形、甲冑形、船形などの形家埴輪が出土しています。高い技術により丁寧に作られており、当時の国の中心地であった畿内の古墳出土の埴輪と比べても遜色ないものが見つっています。

甲立古墳周辺の史跡

① 柳ヶ城跡

南北朝期にこの地に南向した穴戸朝家により築城されたとされる。小規模ながら機能が整った山城である。城の東隣の尾根には甲立古墳がある。



② 県史跡 五龍城跡

南北朝期に穴戸氏により築城された。城中の水が不足したため、五龍王に祈願したところ水が湧き、城名を五龍城と名づけたとされる。元木山尾根上に約700mにわたって郭が連なる大規模山城である。

③ 市重文 理窓院(楼門)

永禄九年、穴戸元源により開基された。穴戸氏の菩提寺。楼門は栗屋村から移築されたものという。



④ 市史跡 穴戸元源の墓

穴戸元家の長男で第七代当主元源の墓。五龍城主。豪放な性格の猛将であった。理窓院の境内にある。

⑤ 市史跡 末兼隆忠(夫妻)の墓

穴戸元源の次男、末兼隆忠夫妻の墓。理窓院の境内にある。



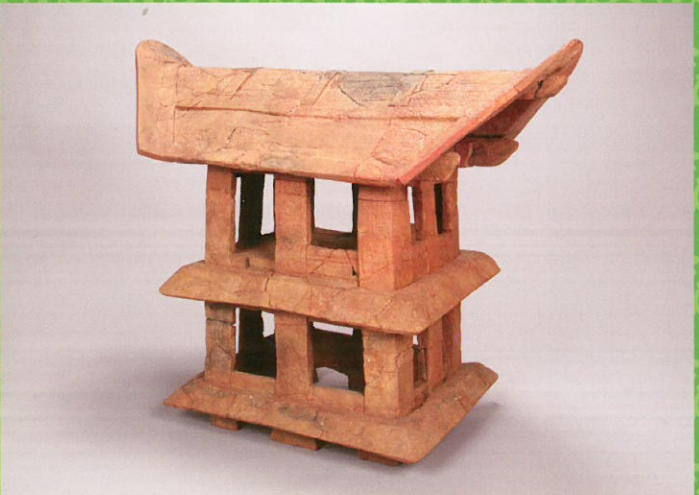
アクセス

- JR 芸備線 甲立駅から西へ徒歩 25 分 (1.7 km)
- 自動車 中国自動車道高田 IC から約 20 分
- 駐車場 甲立多目的広場駐車場を利用してください

お問い合わせ先

安芸高田市教育委員会 生涯学習課
〒731-0501 広島県安芸高田市吉田町吉田764
TEL (0826) 42-0054 FAX (0826) 42-4396
Email shohgaigakushu@city.akitakata.lg.jp
URL <http://www.akitakata.jp/>

中国地方内陸部の王墓 国史跡 甲立古墳



甲立古墳は、広島県の山間部、安芸高田市甲田町の菊山山腹に築造された前方後円墳です。中国地方の代表的河川・江の川(可愛川)とその支流が合流する、交通の拠点に位置します。平成 20 年に偶然発見され、平成 22 年からは、規模などを確認するための部分的な発掘調査を実施しました。調査の結果、墳丘斜面の葺石、各段の埴輪列、後円部墳頂の墓坑、石敷区画などを検出しました。特に石敷区画からは、ほぼ完形に復元された家形埴輪など5基の家形埴輪が一列に配置された状態で検出されるなど、極めて保存状態のよい古墳とわかりました。このほか子持家形埴輪や、最古段階の船形埴輪が出土するなど重要な発見が相次ぎました。古墳時代前期末(4世紀末頃)の築造で、整った墳丘、精巧な埴輪など、当時の中心地である畿内地域の古墳と同様の技術が顕著に認められることから、甲立古墳の築造に大和政権が直接的に関与したと考えられます。



甲立古墳諸元
墳長 77.5m
後円部最大径 54.6m
後円部墳頂径 13.0m
前方部長 29.0m
前方部幅 30.5m



3次元レーザー測量図